

令和6年度 地理歴史科 「世界史研究」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A～D組 選択者
教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）

1 学習の到達目標

近現代の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。

近現代の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

近現代の世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	Ⅲ諸地域の結合・変容	12. 産業革命と環大西洋革命 13. イギリスの優位と欧米国民国家の形成	(1)産業革命 (2)アメリカ合衆国の独立と発展 (3)フランス革命とナポレオンの支配 (4)中南米諸国の独立 (1)ウィーン体制と欧州の政治・経済の変動 (2)列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ グループワーク ・ 提出課題 ・ 授業への参加
	5		14. アジア諸地域の動揺	(3)アメリカ合衆国の発展 (4)19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 (1)西アジア地域の変容 (2)南アジア・東南アジアの植民地化 (3)東アジアの動揺	
	6		<p style="text-align: center;">《第1回考査》</p> 15. 帝国主義とアジアの民族運動	(1)第2次産業革命と帝国主義 (2)列強の世界分割と列強体制の二分化 (3)アジア諸国の変革と民族運動	
	7		16. 第一次世界大戦と世界の変容	(1)第一次世界大戦とロシア革命 (2)ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 (3)アジア・アフリカ地域の民族運動	
	9		17. 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 <p style="text-align: center;">《第2回考査》</p>	(1)世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 (2)第二次世界大戦 (3)新しい国際秩序の形成	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後 期	10	IV地球世界の課題	18. 冷戦と第三世界の台頭 19. 冷戦の終結と今日の世界	(1)冷戦の展開 (2)第三世界の台頭とキューバ危機 (3)冷戦体制の動揺 (1)産業構造の変容 (2)冷戦の終結 (3)今日の世界 (4)現代文明の諸相	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ グループワーク ・ 提出課題 ・ 授業への参加
	11		◇ 共通テスト演習		
	12		<p style="text-align: center;">《第3回考査》</p> ◇ 共通テスト演習		
	1				

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、日本を含む世界を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力、および考察・構想したことを効果的に説明・議論する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度や、多面的な考察・理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を身に付けている。

4 評価の方法

定期考査によって知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については、グループワークの提出課題、振り返りプリントなどによって評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

教科書を中心に、順を追って現代まで学んでいきます。共通テストをはじめ、大学入試問題は概ね教科書を土台として作成されます。授業時間内で復習しながら、教科書レベルの内容は完璧に理解できるように取り組んでください。現代まで終了した場合、その後は共通テスト演習を行う予定です。